

教 育 セ ン タ ー

第1節 概 要

教育センターは、本県学校教育の向上発展に寄与するため教育関係職員の研修、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究、情報処理教育、教育相談、教育図書・資料に関する事業を推進してきた。

これらの事業概要は、次のとおりである。

1 研 修 事 業

教育センターは、教育関係職員の専門的職能と資質の向上を図るために、第三次福島県長期総合教育計画に基づく研修計画のうち、学校経営、教育研究法、教育工学、各教科、道徳、特別活動、生徒指導、教育相談、情報処理教育に関する専門的内容についての研修を実施した。

本年度実施した研修講座は、次のとおりである。

- 講 座 数 58 講座
- 講座開設回数 99 回
- 講座研修者定員 1,659 人
- 講座研修者延べ人数 2,013 人
- 講座開設期間 昭和63年6月1日～平成元年2月8日

2 研 究 事 業

教育センターに課せられた研究機関としての役割と使命を達成するため、広く全国的視野に立って教育の動向を見定め、本県が当面している教育上の課題や学校における教育実践上の諸問題と関連する研究主題を設定し、理論と実践の両面から専門的に研究を進めた。

研究課題によって、プロジェクトのチームによる共同研究と各所員が担当する個人研究とに分けられ、これらの研究成果は、各研修講座の内容と一体化して講座内容に反映させ、共同研究の成果は、研究紀要、所報、研究資料として刊行した外、平成元年2月28日、県文化センターにおいて研究発表会を開催した。

プロジェクトチームによる共同研究の研究主題は、次のとおりである。

- ① 学校の経営過程における現職研修のあり方に関する研究
- ② 基礎・基本の定着と個性の伸長に関する研究
- ③ 情報活用能力の育成に関する研究
- ④ 事例を通じた教育相談の進め方に関する研究

3 教育相談事業

幼児・児童生徒の教育上の諸問題について、学校や保護者からの教育相談に応じ、その解決のために、カウンセリングによる指導援助を進めた。

年間の来所相談の件数は、325件、延べ人数は、1,629人で、電話相談の回数は、1,802回であった。

4 教育図書・資料事業

県内教職員の教育実践活動に役立つ教育図書・資料を提供

するため、教育の専門図書・教育資料の収集・整理を行い、コンピュータを利用して検索の迅速化を図った。

収集した教育図書は所報で紹介し、教育資料は件名目録を作成した。

5 情報処理教育

汎用電子計算機及びパーソナルコンピュータを使用して、COBOL I・II、FORTRAN I・II、BASIC I・IIの研修を実施した。

年間を通して、高等学校生徒に、プログラミング、数値制御工作機械、自動製図機の共同実習を行った。

本教育センターの情報処理教育施設を利用した教職員の延べ人数は2,117人で、高等学校生徒は3,859人であった。

第2節 教 職 員 研 修

教育センターは、教職員現職教育計画に基づく「専門研修」を担当し、研修講座内容を次のとおり実施した。

1 研修講座内容の改善充実

- (1) 研修講座全体について、学習指導要領の目標や指導内容を吟味して講座内容を構成するとともに、当面する教育課題に応えるよう、研修内容を検討し、充実した魅力ある研修講座になるよう努めた。
- (2) 研修形態については、講義中心になることを避け、研究協議、実技、実習、観察、演習、調査等を考慮し、講座内容の特性に応じて多様化を図った。
- (3) 小学校、中学校、高等学校の講座とも、各教科の専門性をいっそう高めるとともに、学習指導と生徒指導の一体化を図るため、児童生徒の理解と対応についても共通研修に努めた。

2 研 修 講 座

(1) 昭和63年度研修講座数・研修者数

学校種別	講座数	講座開設回数	研修者定員	研修者延べ人数
小・中・高共通	8	18	278	591
小学校	14	31	629	629
中学校	14	26	388	431
高等学校	22	24	341	333
養護教育諸学校	0	0	23	29
計	58	99	1,659	2,013

(2) 昭和63年度研修講座の概要

1 学校経営講座